

まちの話題



小学生が保育体験

八月四日、小学生を対象にした保育体験が、香北町美良布にある『子育てセンター』で行われました。

これは、園児と触れ合う中で命の尊さ、親への感謝の気持ちを実感

してもらおうと

香北町で毎年行

われていたもの

で、今年市内

の一年生から六

年生までの十六

人の参加があり

ました。実際に

赤ちゃんを抱つ

こさせてもらい、はじめはビクビクしていましたが、すぐに慣れ「かわいい」「こんなにやわらかいがやあ」と喜んで赤ちゃんに触れ合っていました。

した。また園児達に絵本を読んだり、プールに入れてあげたりして楽しい半日を過ごし、子どもたちは「楽しかった」「また来たい」と口々に感想を語っていました。

障害のあるなしに関係なく、児童らが野外活動を通して交流し、相互理解をはかる「交流キャンプ」(地域子ども教室推進事業)が八月十、十一日の二日間、雨喜ヶ峰森林公園で行われました。

キャンプには、山田養護学校の児童生徒八人と、市内の小中学生二十三人のほか、十六人のボランティアが参加。児童らは六つの班に分かれてテント設営や食事の調理を協力して行い、また、夕食後は、班ごとに考えた「出し物」を披露し合い、夜空の下で、新しくできた友達と一緒にキャンプを満喫していました。

キャンプが終わった後の感想では「全員と仲良くなれた。楽しかった」などの声が聞かれました。

八月十一日、香北町永野の特別養護老人ホーム白寿荘で、白寿荘と双葉保育園合同による納涼祭が開催されました。

今年で二十三回目を迎えたこの催しは、白寿荘入居者のお年寄りと園児、また

地域住民との交流を目的に毎年開催されています。今年には牛乳やカレーライスなどの早飲み・早食い競走や蕪生太鼓の演奏、そのほかにも園児による和太鼓演奏、よさこい鳴子踊りが披露され、園児に誘われたお年寄りも一緒に踊りを楽しみました。祭りの最後には花火が打ち上げられ来場者は楽しい夏のひとときを過ごしていました。

大栃中生徒が 施設ボランティアを体験

総合的な学習の時間で「福祉健康コース」を学ぶ大栃中生徒五人が七月二十七日、介護老人保健施設「とさやまだファミリア」で施設ボランティアを体験しました。

生徒らは、車イスの操作体験や福祉車両の見学、施設の利用者らと植物の手入れや折り紙、手芸などを一緒に行いました。

また、物部地区に古くから伝えられている『いざなぎ流舞神楽』、手話や合唱を生徒らが披露すると大きな拍手が送られていました。

参加した生徒は「いろいろな体験ができてとても勉強になった。今日の体験をこれから生かしていきたい」と話していました。



生徒らが披露する「いざなぎ流舞神楽」

「塩の道」の 全線復活を目指して

八月九日、「塩の道」意見交換会が香南市香我美町の山北地区公民館で開催されました。

今回の会は七月三十一日に設立した「塩の道・香美市保存会」の呼びかけで、物部から赤岡を結ぶ塩の道の完全復活に向け、互いの意見を交換しようとい行われました。香美市から十人、香南市からは十八人が出席し、これまでの自分達の取り組みや今後の活動について意見が交わされました。今後は香南市でも保存会を立ち上げ、塩の道の完全復

意見交換で協力を確認



活を目指し互いに協力し取り組んでいくことが決まりました。

大栃中が学校優良 施設に選ばれました

平成十八年度公立学校優良施設に大栃中学校が選ばれ、八月二日に栃木県宇都宮市で開催された「第五十一回全国公立学校施設整備期成会定期総会」で、(社)文教施設協会より表彰されました。

平成十六年度に改築された同校体育館が、小屋組みにおいて主要構造部を調達可能な大きさの木材を重ねて使用する合わせ梁構法、木材の弱点を最小限のスチールでカバーするハイブリッド構法を採用したことにより、先進的技術部門で優良と評価されたものです。



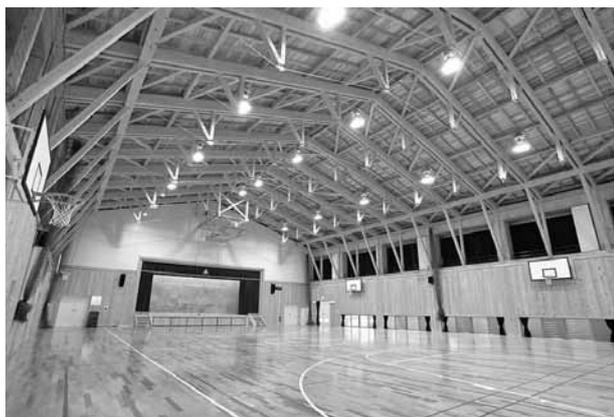
熱唱!!

違いを認め合える社会を!

堀内佳さんがコンサート

「部落差別をなくする運動」強調句問記念事業として、「堀内佳は」とふるコンサート」が七月十八日、保健福祉センター香北で開催され、約九十人が堀内

さんの歌とトークを熱心に聴講しました。先天性の目の病気により全盲となった堀内さんは、自身の体験をふまえ、「みんなの違いを認め合うことができる社会になれば、自然に差別や戦争などもなくなっていくと信じてる」と会場全体に語りかけていました。



大栃中学校体育館

また、木材や土佐漆喰などの地場産品を利用することにより温かさややわらかな質感、吸湿性による快適な室内環境づくりなどの効果が出ています。

開館10周年 アンパンマンミュージアム



記念の紙風船を大空へ飛ばし

「やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム」が開館十周年を迎え、七月二十一日に記念式典が開催されました。

平成八年七月に開館した同館は、今年六月十六日には入館者が二百万人を突破するなど、市を代表する文化・観光施設としてにぎわっています。

式典では、これまでの十年の歩みをスライドで紹介。アンパンマンミュージアム振興財団理事長の野島民雄・旧香北町長が、「香美市の発展に貢献できる施設として活用していただき、館十周年を祝いました。」

多くのお客様に来ていただければありがたい」とあいさつ。蕪生太鼓の演奏や、美良布・双葉の両保育園児らが記念の紙風船を空に飛ばし、開



蕪生太鼓の演奏



旧2町の老人クラブ会長に感謝状

七月二十四日、「第一回香美市老人クラブ大会」が中央公民館で開催され、会員ら約八十人が参加しました。

大会は、今年五月に土佐山田町と香北町の老人クラブ連合会が合併し、合計五十四クラブ、会員二千四十三人の「香美市老人クラブ連合会」（楠目五月会長）が結成されたことをうけて開催されたもの。会員らは、大会を通じて、各老人クラブの活性化と、新しくできた連合会の発展をめざし、交流を深めていきました。

香美市老人クラブが誕生



ジャンケン大会

七月二十九日、舟入小学校で、「ふなないれ祭り」が開催され、校区内の親子や地域の人々が多数参加し、大いににぎわいました。

子どもたちは、保護者らが出した出店でヨーヨー釣りや同小学校卒業生のバンド演奏を聞いて祭りを楽しんでいました。また、当日、土佐山田スタジアムでの試合を終えた高知ファイティングドッグスの選手も祭りに駆けつけ、選手のサイン入りボールを賞品としたジャンケン大会も行われました。直接、選手から手渡されたボールを手にした子どもたちの表情はうれしそうでした。

ファイティングドッグスも参加した「ふなないれ祭り」

いざという時に備え 消防団が夏季訓練

香美市内の三つの消防団が、各地区で夏季訓練を実施しました。

七月二日には、物部消防団（団員ら約二十人が参加）が開発センターで礼式訓練を実施後、町内の防火水槽の点検を行いました。

七月二十三日には、土佐山田消防団（団員ら約百三十人が参加）が、物部川の一斉清掃を行った後、楠目小にて住宅用火災警報器の勉強会と集団献血（八十四人）を行いました。

七月三十日には、香北消防団（団員ら百七人が参加）が、香北青少年の家周辺で山林火災を想定した消火訓練などを行いました。

また、各訓練の当日は、次の方々の表彰披露も行われました。
敬称略。（ ）内は、所属名。

消防庁長官表彰
・ 永年勤続功労章
・ 曾我部武春（佐岡分団・分団長）

日本消防協会会長表彰

功績章
五百蔵透（土佐山田消防団本部・副団長）

功績章
安井正興（岩村分団・分団長）、三谷賢一（香北消防団本部・副団長）

功績章
公文波美男（繁藤分団・副分団長）

功績章
高知県知事表彰
永年勤続功労章

功績章
萩野憲生（大栃分団・分団長）、島岡信彦（山田分団・副分団長）、堀川賢一（山田分団・班長）、幾井和雄（新改分団・副分団長）、今田博明（美良布分団・班長）
高知県消防協会会長表彰
功績章

功績章
南場良夫（物部消防団本部・副団長）、岡本章（神池分団・班長）、新谷和男（神池分団）、楮佐古源長（同）、猪本治夫（同）、新谷忠一（同）、西内克行（佐岡分団・班長）、井口一男（新改分団・班長）、山本浩勝（新改分団）、佐藤栄治（繁藤分団・班長）、村上

英士（繁藤分団）、山本博久（美良布分団）、五藤省三（西川分団）、森本正延（猪野々分団）
功績章
川村和宏（佐岡分団）、上村芳雄（片地分団）、出間和浩（同）、秋山成太郎（楠目分団）、藤野雄大（山田分団）、宮地豪（同）、奥宮義達（同）、福留直人（同）、山本龍昭（岩村分団）、甲藤公史郎（同）、都築精郎（同）、森下和司（新改分団）、山本淳一（同）、岡林武彦（繁藤分団）、松田雄樹（美良布分団）、大倉達也（同）



表彰披露

姉妹都市交流だより

第38回土佐山田まつりに 積丹町踊り子隊が参加

八月五日に開催された「第三十八回土佐山田まつり」に、今年も姉妹都市の北海道・積丹町の踊り子隊、総勢六人が参加しました。

積丹町の踊り子隊が土佐山田まつりに参加するのは、今年で十四回目となり、香美市の踊り子隊と結成する合同チームは、人気チームの一つとして定着しています。六月に北海道で開催された「第十五回YOSAKOIソーラン祭り」に参加したメンバーを中心に、息の合った踊りを披露し、沿道や納涼祭会場では、多くの拍手をいただきました。

また、今回の訪問では、積丹町の踊り子隊は、香美市内の一般家庭で民泊をし、受入家庭による心のこもった温かいもてなしに大変感激していました。

十月十四、十五日に開



商店街で息の合った踊りを披露

八月五日に開催された「第二十五回刃物まつり」（会場「鏡野公園」）では、積丹町訪問団による「積丹町の北海道産市場」が来店されます。刃物まつり来場の際には、積丹町ならではの食材、料理を味わい、皆さんも食の交流を行ってみませんか。
（香美市姉妹都市友好都市交流推進協議会事務局）